

第4回 日本ユング心理学会（JAJP）研修会のご案内

主催：日本ユング心理学会

日時：2017年9月3日（日）12：15-17：00

会場：京都アスニー（京都市中京区聚楽廻松下町9の2）

ご挨拶

すでにご承知の通り、当学会では、2012年4月の設立と同時に「認定心理療法士」資格の認定を開始し、以降、すでに49名の方がこの資格を取得されました。

この資格の創設は、それぞれの学会が認定する専門資格の役割が今後増すであろうという予測のもとで、ユング心理学に基づく心理療法家の育成・認定を目指すものです。またユング派分析家資格の要件のほぼ半分にあたるもので、手の届きやすい資格であると同時に、将来の分析家資格取得にもつながるものです。

2014年度より、本学会資格研修委員会では、会員の方々の参加を優先させつつ、心理臨床を実践しておられる方々にも広く門戸を開き、臨床の質を高めていくための研修機会を提供することを目的とし、第4回日本ユング心理学会研修会を企画いたしました。

内容といたしましては、本学会認定心理療法士資格をもつ講師による、理論と技法、双方の面でユング心理学の「基礎」を学ぶ分科会と、特定のテーマを設定した「事例検討」の分科会となっております。

奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

2017年7月吉日

日本ユング心理学会
資格研修委員長 河合 俊雄

<開催要領>

1. 定員：180名

2. 参加資格：以下の条件のいずれかを満たす方

- ①日本ユング心理学会会員
- ②心理臨床の実践に職業として携わっている方
- ③臨床心理学を専攻する大学院生

3. 参加費：学会員：4,000円 非会員：7,000円 大学院生（非会員）：5,000円

4. 研修内容：以下の6グループに分かれ、分科会を行います。

セッションⅠ（12：15-14：30）/セッションⅡ（14：45-17：00）

(1) セッション I (12:15-14:30)

● 〈事例検討1〉川戸 圓(川戸分析プラクシス)

「病態水準の問題について」

病態水準という言葉は長らく用いられ、それなりに練り上げられてきた言葉でもある。しかしこの言葉は「病態」という言葉からも分かるように、精神医学の世界で、主に、重要視されできたものであることは否めない。そして臨床心理学の世界でも、取分け境界例が問題となった頃に、用いられるようになってきたことは周知の事実である。この分科会では、神経症水準・境界水準・精神病水準という分類が出来上がったその後のことを考えてみたい。この分類のはざま、この分類にそぐわないものをどのように臨床家が実感し、その経験を積み上げていくのかは、今後の重要な課題であろう。ユング心理学では、病態水準を理解した上で、意識と無意識の関係性から問題を理解する方法論・枠組みを構築してきたのだが、その方法論・枠組みについて、病態水準の問題を絡めながら、再考したい。

※事例の募集：境界水準、精神病水準にある事例、あるいは発達障害と診断された事例を募集します。ご希望の方は、参加申込書に100字程度の事例の概要をご記入ください。

● 〈事例検討2〉横山 博(隈病院)

「夢と心理療法」

フロイトは「夢は無意識に至る王道である」と語り、ユングは「夢は一面的になった意識のあり方を補償する」と語った。夢分析と構造化された心理療法でなくても、夢がクライアントの方から自然と語られることも多い。それを心理療法にいかにかは重要な我々の仕事である。夢を含んだ事例を応募していただくことを希望します。

※この分科会では、参加者からの事例発表を募ります。ご希望の方は、参加申込書に100字程度の事例の概要をご記入ください。

● 〈基礎1〉田中 康裕(京都大学)

「ユング派心理療法と日本的主体」

「フロイトは19世紀の抱えた病への一つの解答である」とユングが述べたように、心理療法は西欧近代の抱えた病への一つの解答であり、ユング派心理療法もその例外ではない。しかし他方、ユング派心理療法は、西欧近代を超えた「拡がり」を確かに内包しており、そこには西欧的というよりも、日本的主体にフィットする部分や、近代だけでなく、ポストモダンの今日が抱える病への解答となりうる可能性があるように思う。この分科会では、このような今日的な「ユング派心理療法と日本的主体」との関係について考えてみたい。

(2) セッション II (14:45-17:00)

● 〈事例検討3〉河合 俊雄(京都大学 心の未来研究センター)

「がん患者との心理療法」

生涯がんリスクは50%になるという統計が示しているように、がんは一般的な病気であると同時に、医学的にも心理学的にも個別的な病であると言えよう。心理的アプローチによって現れてくるテーマも様々で、なかなか一般化を許さないところがある。ユングが個性化ということを強調するように、がん患者との心理療法において、どのようなテーマが扱われることがあるかを、イメージによって関わったものを中心に何例が検討したい。

事例発表者：城谷 仁美

● 〈事例検討4〉 豊田 園子(豊田分析プラクシス)

「思い入れの強い事例について」

セラピストはどんなクライアントとも、同じように全力で心を傾注して接しようとするし、そうしているつもりであるだろう。しかしその中には時として非常に思い入れを強くもってしまう事例というものがある。そこにはセラピスト側の問題も当然あるのだが、そのような事例に対してどう向き合っていくといいのか、どのようなこと注意すべきであるかについて考えられればと思う。

事例発表者：鈴木 志乃

● 〈基礎2〉 北口 雄一(北口分析プラクシス)

「心理学用語の光と影を、ユング心理学から考える」

世間には、心理学についての言葉が散りばめられている。クライアントもまた、それらの言葉から様々な方向への影響を受けざるをえず、その一つとして、クライアントが、自分のこころのテーマとぶつかっていることを見ないために、心理学の言葉を投げ所々にせざるをえないことも、よく起こる。今回の分科会では、いくつかの心理学の言葉を挙げながら、それらが心理療法の中で、どのようなプラスとマイナスの現象を起こしうるか、ユング心理学の視点から具体例を通して考えたい。

※ 各分科会の会場につきましては、当日受付にてご案内いたします。

5. 参加お申込みについて

お申込みの方は、件名を「第4回日本ユング心理学会研修会申込」として、以下の内容を明記の上、eメールにてお申込みください。

* 記入事項：

1) 参加ご希望の分科会(セッションⅠ・Ⅱとも、必ず第2希望までご記入ください)

2) 参加されるご本人の氏名・ご連絡先等

A) 非会員の方：①氏名②ふりがな③住所④返信用のメールアドレス⑤所属/専攻

⑥参加区分(非会員/大学院生)

*臨床心理士の方は、臨床心理士番号もお書き添えください。

B) 会員の方：①氏名②住所③返信用のメールアドレス④所属/専攻

*宛先：日本ユング心理学会(JAJP)事務局

e-mail: office@jajp-jung.info

* 申込締め切り : ~~2017年8月14日(月)~~ **8月23日(水)**

- ・お申込み受付は、原則として先着順とさせていただきます。
- ・事例検討の分科会は、日本ユング心理学会会員を優先して受付いたします。
- ・希望者多数の場合にはご参加いただけない場合もありますので、予めご了承ください。
- ・研修ポイントについて、本研修会への参加は、日本臨床心理士資格認定協会の「臨床心理士教育・研修規定別項」第2条第3項「本協会が認める関連学会での諸活動への参加」の通り、ポイントが付与されます。

*参加証は、研修証明書の代わりになりますので、大切に保管してください。

6. 参加の可否について

お申込み受付後、ご記入いただいたメールアドレスに通知を差し上げます。

*通知は申込締め切り後の8月下旬になる予定です。

参加証等は、事前に発送いたしません。

申込者本人のみ、ご参加可能です。

7. 参加費のお振り込みについて

参加費につきましては、参加可否の通知後、~~2017年8月18日(金)~~ **8月25日(金)**までに、下記口座へお振り込みください。

振込先：三井住友銀行 備後町(びんごまち)支店 普通 1795872 日本ユング心理学会

- ・振込掲載書は領収証代わりになりますので、必ず保管し、当日ご持参ください。
- ・お振り込みは、必ず本人のお名前をお願いします(異なる場合は、事前にご連絡ください)。
- ・納入された参加費は返金できませんので、予めご了承ください。

8. 研修会に関するお問合せ先

日本ユング心理学会 (JAJP) 事務局

住所：〒541-0047 大阪府中央区淡路町4-3-6 新元社内

Fax：06-7632-4221

e-mail：office@jajp-jung.info

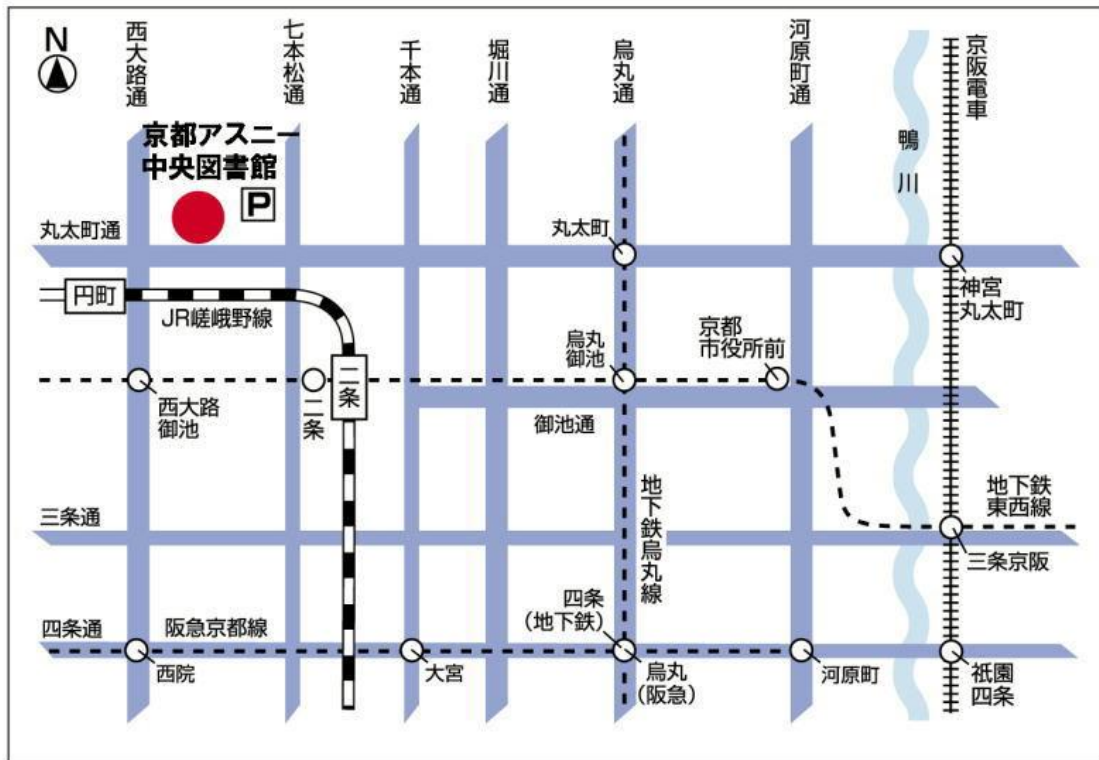
9. 会場案内

京都アスニー

住所：京都市中京区聚楽廻松下町9の2

TEL：075-802-3141

URL：<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/asny1/top.html>



- JR・近鉄京都駅から
 - 市バス 206/約 22 分→千本丸太町下車 西へ徒歩 400m
 - JR バス/約 20 分→丸太町七本松下車
- JR・地下鉄二条駅から
 - 市バス 15/約 5 分→丸太町七本松下車
 - 京都バス 61・62・63・65/約 5 分→丸太町七本松下車
 - JR バス/約 5 分→丸太町七本松下車
- 阪急大宮駅から
 - 市バス 6・46・55・201・206/約 8 分→千本丸太町下車 西へ徒歩 400m
 - JR バス/約 10 分→丸太町七本松下車
- 阪急西院駅から
 - 市バス 202/約 10 分→丸太町七本松下車
- 地下鉄丸太町駅から
 - 市バス 93・202・204/約 10 分→丸太町七本松下車
- 京阪三条駅から
 - 市バス 15/約 20 分→丸太町七本松下車
 - 京都バス 61・62・63・65/約 20 分→丸太町七本松下車
- 京阪神宮丸太町駅から
 - 市バス 93・202・204/約 15 分→丸太町七本松下車
- JR 丸太町駅から
 - 市バス 15・93・202・204/約 3 分→丸太町七本松下車
 - 京都バス 61・62・63・65/約 3 分→丸太町七本松下車
 - JR バス/約 3 分→丸太町七本松下車
- 駐車場 施設利用者 30 分までごとに 100 円
 - (※ 1 階事務所に駐車券をご持参のうえ、館内利用手続きを行ってください)